

【別添2】

北海道網走桂陽高等学校 論理国語 年間指導計画(2単位)				A 時間			B 25時間			C 45時間			計 70時間						
				単 元 名															
				4月	5・6月	6月	7月	7月	8月	8・9月	9・10月	10・11月	11月	12月	12・1月	1・2月	2・3月		
科目の目標				1 【第1部】 論理と出会う	2 具体と抽象	4 主張をつかむ	5 論理的に書く ― 小論文① A	5 論理的に書く ― 小論文① B	5 論理的に書く ― 小論文① C	5 論理的に書く ― 小論文① D	3 対比をとらえる	7 比べて読む	6 統計資料を活用する	8 レポートを書く A	8 レポートを書く B	8 レポートを書く C	8 レポートを書く D		
(1) 知識及び技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。																			
(2) 思考力、表現力、判断力等 論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。																			
(3) 学びに向かう力・人間性等 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																			
学年		第2学年		担当		榎 亮一													
使用教科書				新編 論理国語(大修館書店)															
指導領域				B 書くこと															
授業時数の計				25時間															
指導領域				C 読むこと															
授業時数の計				45時間															
指 導 事 項																			
知識及び技能	(1)	A	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。			○													
		I	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	○	○						○	○		○	○				
		ウ	文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。				○	○	○	○	○						○		
		E	文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。			○		○	○										
	(2)	A	主張とその前提や半焼など情報と情報との関係について理解すること。										○			○			
		I	情報を重要度や抽象度によって階層化して整理する方法について理解を深め使うこと。									○							
		ウ	推論の仕方について理解を深め使うこと。									○							
	(3)	A	新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めること。	○															
	思考力、判断力、表現力等	B 書くこと	A	実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めること。											○				
I			情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえること。				○												
ウ			立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫すること。						○										
E			多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすること。					○							○	○	○		
O			個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫すること。							○									
K			文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。														○		
C 読むこと		A	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握すること。	○	○	○						○							
		I	文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。										○						
		ウ	主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈すること。			○						○							
		E	文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価すること。	○	○														
		O	関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めること。										○						
		K	人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めること。										○						
		キ	設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすること。										○						
		教 材 名																	
		※各単元の目標について				【論理的な人】とは論理という人か	【ワザ】の耳はなぜ長い？具体と抽象の関係	【例題】文化としての続ける	根拠をふまえて主張を書く	構成を考えて書く	反論を想定して書く	文章を磨き上げよう	【対話の精神】対比を使いこなす	【紙の本】は読まない【ワザ】は読もう	【ワザ】は読まない【ワザ】は読もう	文章の時代から質の時代へ	量の時代から質の時代へ	テーマを決め、問いを立てよう	情報を整理しよう